

# 第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

## 小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	松阪市立大河内小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	地域に根ざした魅力ある学校づくり

### 〈活動・研究の意義および活動報告〉

#### 1、活動に至る経緯

住民の多くは、農林業で生計を立てていたが時代の変化とともに、その担い手が祖父母中心になり、兼業農家から田畑を手放す状況に移行している。しかし、一方では、椎茸・イチゴ・ナシなどの栽培も進められてきている。このような環境にあるため、学校の周りにはたくさんの自然が残っている。また、地域の学校に対する協力も進んでいただけたところであり地域に根ざした教育活動ができる環境である。

#### 2、活動・研究の目的

過疎化が進み本校の児童生徒も年々減少している。学校の統廃合も時間の問題である。子どもたちが、成長し生まれ育ったこの大河内の良さを再発見し地域の良さを発信していくとともに、この地域の担い手にもなってほしいと願っている。

#### 3、活動内容

##### ①うきさと村探検（対象学年2・3年生、生活・総合）10月13日（金）

うきさと村で元気に暮らしている皆さんと出会い、うきさと村のいいところをたくさん発見する。  
○村のために災害用ヘリポートを個人的に作られたり、ジップラインなど子どもたちが楽しめる場の提供をしてくださるHさんと出会う



○ヤギを飼っているSさんと出会う。



○気郷公民館長さんとうきさとの廃材を利用し木工工作を行った。肩たたきを制作。



②木工体験（対象学年5年生 総合）12月7日（木）

林業体験を終え学習を深めた子どもたちが、森林公園で松阪の木の廃材を活用し木工体験を行った。松阪ででた木の廃材が新たに活用されていることを学び、その廃材を活用してネームプレートを作成した。



③感謝パーティー（対象学年 5年生 家庭）12月19日（火）

農業体験、林業体験でお世話になった人を招待し、感謝パーティーを行った。林業や農業体験で学んだことをまとめ発表し意見交換した。その後、農業体験で作ったお米でおにぎりを作り、農園で育てた大根でみそ汁を作りふるまった。



④しいたけ菌うち体験（対象学年4年生 総合）1月26日（金）  
しいたけは真菌類（人間が食べることができる菌）の仲間です。植物より動物に近い兄弟ともいえる関係だと教えていただきました。林業研究会のKさんに教えていただきしいたけの菌を原木に打ち込んだ。



⑤海の生き物コーナー

学芸員さんをお招きし、本校の池に住む生き物調査を行う。学校池は、勢津の川から農業用水としてひかれた水が流れ込みまた用水路に流れている。学校池の生き物調査は来年度から行いたい。

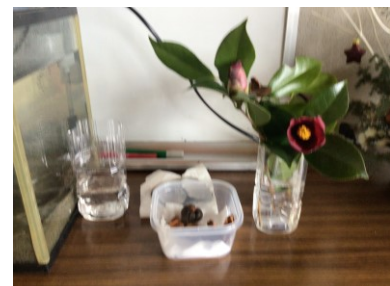
それに向けて、本校は山に囲まれた地域であることから、海の生き物にも関心を持ってもらえるようにと学芸員さんが研究している海の生き物の捕獲の際に捕まえたあまり我々も親しみのない生き物を展示し（海サボテン）、子どもたちに生き物に興味を持ってもらえるようにコーナーをつくった。子どもたちに向けて季節だよりも毎月発行され、立ち止まって水槽をのぞき込む姿や秋の便りを読む児童や、海サボテンにプランクトンを与える姿がたくさん見られた。



（海サボテン）



（きせつのはな）



（季節の草花も展示）

4. 子どもたちへの効果（成果と課題）

子どもたちは、興味をもって取り組むことができた。椎茸づくりをしている山や林業で整えられた山では、里山を守ることにつながり、それは安全な環境づくりにもなっていることを学んでいる。また過疎化が進む村では、新たに移住した人たちが元気に過ごしていることも知ることができた。子どもたちのために熱心に教えていただける地域である。しかし、ゲストティーチャーにも高齢化の波が押し寄せている。この取り組みを今後継承していける子どもたちであったり、地域がさらに好きになる子どもたち、地域の課題を自分たちの問題として考え探究できる子どもたちに育てていくことが学校の責務だともいえる。